

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 20.11.28 第 170 回国会第 3 号

11 月 28 日、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・中曽根外務大臣から説明を聴取した後、中曽根外務大臣、伊藤外務副大臣、西村外務大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 三原朝彦君(自民)

- ・インドのムンバイで発生した連続テロ事件について、外務省はどのような認識をもっているのか。
- ・我が国がコロンビアで行ってきた児童図書館建設等への協力は、教育の重要性を高め、現地社会の安定にも資すると評価するが、今後の協力量針はどう考えているのか。
- ・観光は互いの国を知る重要な手段であると評価するが、日ペルー外相会談で検討課題となった観光開発の協力について、外務省はどのような認識をもっているのか。

### 野田佳彦君(民主)

- ・APEC のリマ声明で、金融危機を今後 18 か月で克服することが明記されたが、来年、世界経済のマイナス成長が予測される中、果たして実現可能なのか。
- ・同声明では、WTO ドーハ開発アジェンダ貿易交渉の年内大枠合意を誓約しているが、今年 7 月の貿易交渉で決裂したにも関わらず、果たして合意を達成できるのか。
- ・同声明が、中小企業への資金繰り支援を支持したのに対し、政府が同様の支援を中身とする 2 次補正予算の今国会提出を見送ったことは声明と矛盾するのではないか。

### 近藤昭一君(民主)

- ・アフガニスタン政府と国際連合が今年 7 月に共同で発出した食料に関する緊急支援アピールに対し、各国は拠出金を提供しているが、我が国はどのように対応するのか。
- ・韓国出身戦没者の追悼式に外相が出席し、追悼の辞を述べることについて、中曽根外相の見解を伺いたい。
- ・東京法務局が有する未払い賃金の供託証明書など、韓国出身戦没者に関する情報を韓国政府と共有するべきではないか。

### 笠井亮君(共産)

- ・クラスター爆弾禁止条約に署名後、我が国は米国をはじめとした保有国に対し、どのようにクラスター爆弾の廃絶を働きかけていくのか。
- ・これまでに計上された在日米軍再編関連経費の総額は約 2776 億円と認識しているが間違いはないか。
- ・在沖縄米海兵隊のグアム移転経費の総額が増大する可能性について、政府の見解を伺いたい。

### 保坂展人君(社民)

- ・国際機関の基金に関する我が国の拠出残余金についての指摘の詳細を会計検査院から説明願いたい。
- ・返金の受け取りなど必要な手続きがとられてこなかった拠出残余金の実態について、外務省は今後どのように対応するのか。
- ・外務省は、国連広報センター東京事務所に対し、同事務所が有する定期預金 500 万円を用いた美術品の巡回展の開催を提案したことがあるか。